



Japan Boxing Commission :

Tokyo Dome 1-3-61 Bunkyo-ku, Tokyo, Japan Tel:
+81-3-3816-5761 Fax: +81-3-3816-5760



台湾の OPBF セミナーに JBC が本格連携

(2026年2月28日～3月1日)

<報告>

3月1日、台湾・台中市内の延原フィジカルトレーニングで開催されたボクシング興行『フィスト・オブ・アウェークン』を軸として、東洋太平洋ボクシング連盟（OPBF）が審判セミナーおよび関連活動を実施。日本ボクシングコミッション（JBC）はこれに連携し、特に審判指導の面で協力を行った。本取り組みは、アジア地域全体におけるプロボクシングの安全な運営および審判技術の向上を目的として実施されたものである。



興行では、日本から2選手が出場。メインイベントのOPBF東洋太平洋ミニマム級シルバー王座決定戦では、服部凌河（横浜光）がジェン・シオウ（台湾）と対戦した。服部は最後まで前進を続けたが、WBCアジア王座保持の実績を持つジェンに0-3の判定で敗れた。

一方、宮川晟（横浜光）はミニマム級6回戦でヨウ・チゲン（台湾）と対戦し、2-0の判定で勝利。無敗だった相手に初黒星を与える結果となった。



今回の活動について、台湾で3回目の指導にあたった片山昌三（JBC）は「オフィシャルのレベルが確実に向上し、スタッフも一丸となって運営に従事している。審判も上達しているので、経験を重ねればさらに高いレベルになる」と総括した。

また、JBCでも自主研修を行ってきた TCSDA（台湾格闘技発展協会）の洪茂コミッショナーは「プロモーターが新規スポンサー企業を数多く開拓したほか、クラウドファンディングでも42万台湾ドルを集め、興行として黒字が見えてきた。日本の『乗り興行』の仕組みも運営に活かされていた」と述べた。

今回の活動を通じて、OPBFとJBCは台湾関係者との連携を強化することができた。今後もアジア地域におけるプロボクシングの発展に向けた取り組みを進めていく所存である。



